

DigitalCamera倶楽部

JAN 2020
Vol.169

謹 賀 新 年

今年もよろしくお願いします
令和二年 元旦

平成から令和へバトンタッチされ、2年目の今年は平穏な年である事を願うのですが、隣国や周辺のざわつきが気に掛かりますね。

また、自然災害では台風 19 号による被害が大きく、私たち D C 倶楽部の撮影会は被災地を通ってのコースと 2 日目の現地が土砂崩れで目的地へ行けないことから中止せざるを得ませんでした。

今年こそは楽しい撮影会が出来ますよう、計画を立てたいと思います。

近年のスマートフォンのカメラ機能は目を見張るほどの進化を続けて、一億総カメラマンの時代の感じがします。色々な場所で色々な場面をそこに居合わせた人がシャッターを切る。写真が素晴らしいとか、良い写真と言われるのは、つまりは 出会い ではないでしょうか。その出会いにスマートフォンをかざして写す。更にそれを SNS を媒体として世界へ発信する。

本当に進んだ世の中になりましたね。

しかし、皆さんのこれまで積み重ねられた技術、感性はたまたま遭遇して撮れる一枚ではなく、どこへ行っても皆さんの持たれている独特のアングルや表現の出し方で一味も二味も奥行きのある作品が出来ています。

また、長時間露出や露光間ズームなどスマートフォンでは難しい 技 などを勉強して行きたいと思います。高齢化で長距離や高低差のある歩行が難しくても、身近な題材は沢山あります。

数々の名場面を写し撮ってくれた、愛機の手入れをしながら今年の予定を立ててみようではありませんか。

別府 3 1 - 1 2 月写真

宮ヶ瀬イルミネーション



吉川のページ 雨の奈良井宿 (長野県塩尻市)



昔の雰囲気
タイムスリップ
したようです



笹で作ったバッタ
遊び心が楽しい



時代劇にでも
使えそうな
雰囲気です



漆器の名産地
立派な物が沢山
あります

鈴木義則 のページ

「秋雑観（薬師公園）」その2



紅葉が少し鬱陶しいが、秋の色を懸命に演出している

恒例の雪吊りで、町田に降る雪には不必要と思えるが季節感には必要



水鳥を狙うより談義に熱が入るシニアカメラマン

鱗雲に浮かぶ梢も見方次第

松の整枝、欄干に固定した
脚立と落ち枝受けのビニ
ール傘に感心



木々の間から見える古民家、中では柴焚き
中のため薄く煙が漂うのも一興



葉の落ちた桜、これから
散る櫟、常緑樹のヤマモ
モが秋の空に競う

白岩のページ



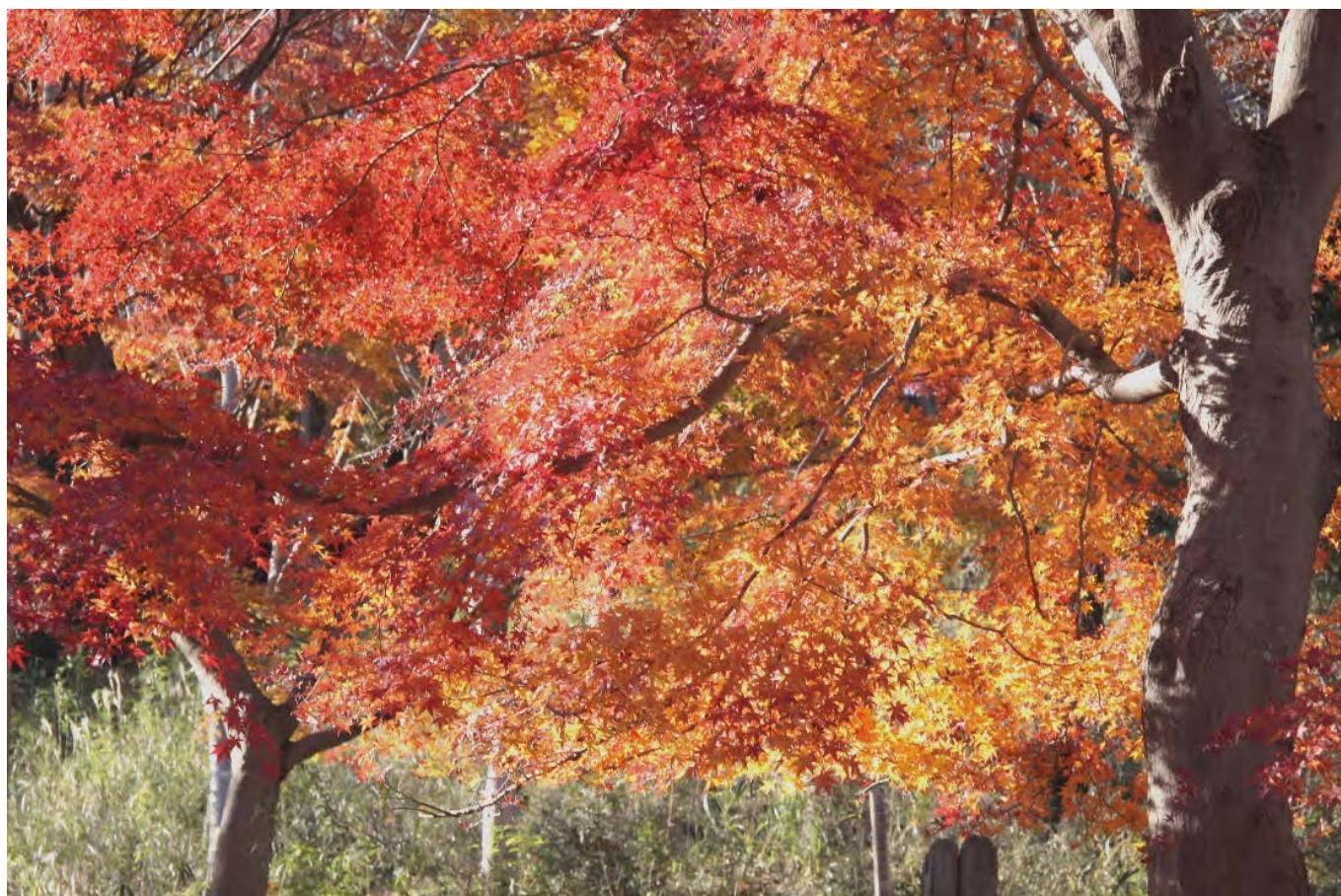
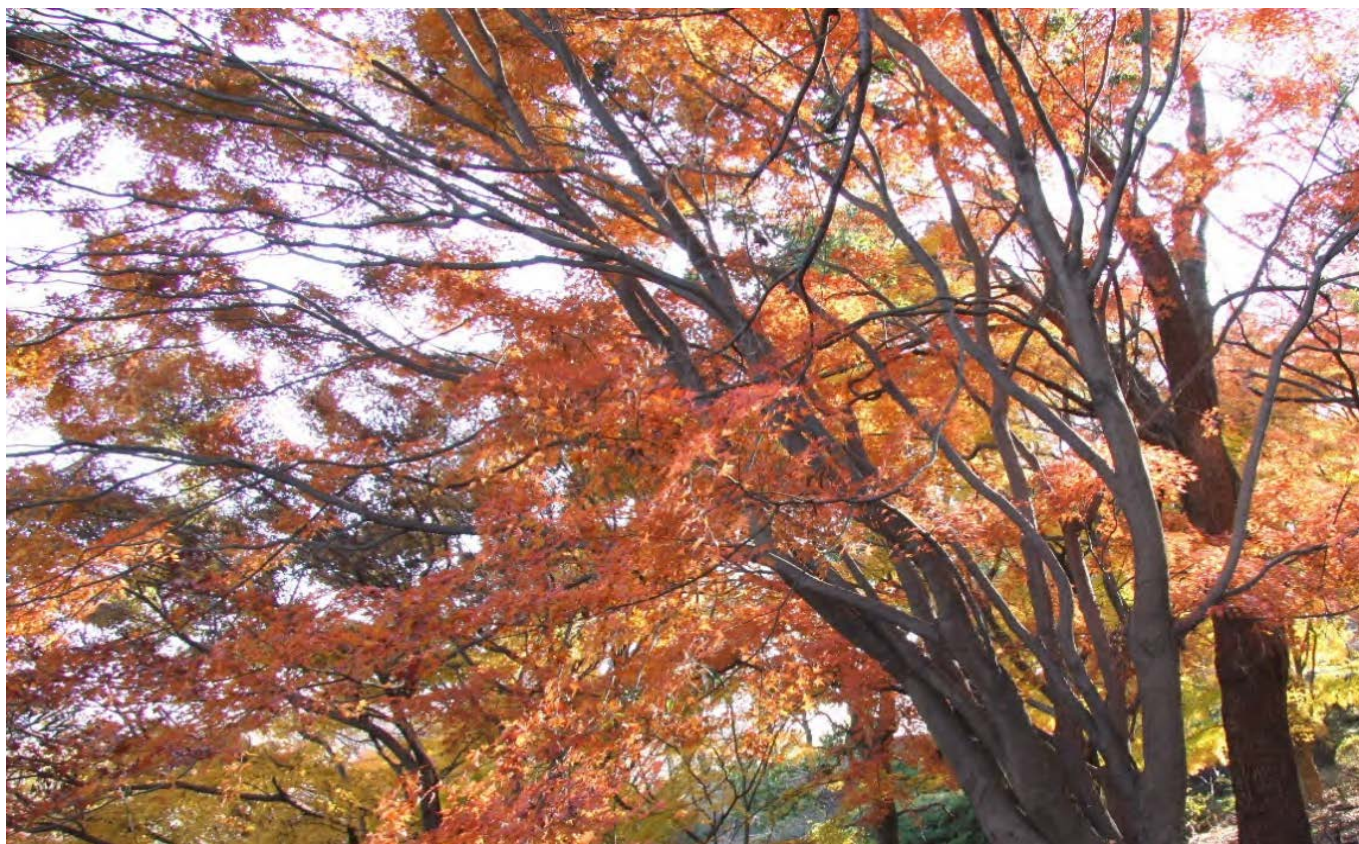
立川昭和記念公園・日本庭園内



佐藤重信のページ 11/6 愛川町ふれあいの村
紅葉と銀杏の黄色で秋に染まる



12/8 飯山白山森林公園
こちらは1か月程遅れてちょうど見頃でした。



笹原虎夫のページ

愛川公園の秋のひと時



真っ赤に色づいた
ドウダンツツジ

日向ぼっこ中の日本猿



寛ぐオシドリ夫婦

チョウゲンボウ♀の風景
ホバリングして獲物を狙い定め中



捕食完了、休憩中



大川のページ

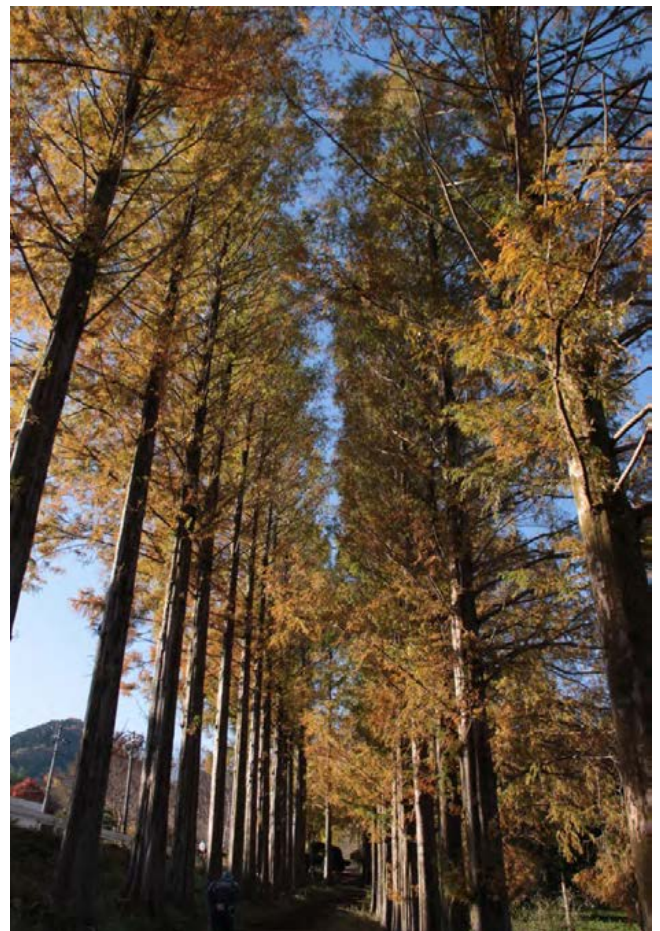


カラフルな
岡山の市電





愛川ふれあいの村



鈴木瑠美子 のページ

秋の薬師公園（その2）



秋と言えば菊花展、その
表彰式の準備も整った

菊の花がズラリ、それでも
近年は出展が減っている
とのこと



白からピンクへのグラデー
ションが良い



古民家には秋景色が合う

葺き替えを終えた屋根、下から見る萱の厚みはすごい



防虫のための柴焚き、目が痛くなった昔を思い起す